

事業番号	04 07 09	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	こどもの未来支援基金事業			担当課	部局	県民文化部	
				課・局・室	こども・家庭課		
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	H28 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2-3 若者のライフデザインの希望実現					
	施策展開	1-(2) 信州ならではの魅力ある子育て環境づくり (イ) 子育てに伴う経済的負担の軽減 (エ) 困難を抱える子どもや家庭への支援					

1 事業の概要

目指す姿	経済状況から修学に困難を抱える県内学生を支援する奨学金給付や、児童養護施設入所の自然科学体験機会創出の実施を補助するなど、子ども自身が力をつけ、様々な進路にチャレンジできるよう、子どもの未来を幅広く支援する。 (こどもの未来支援基金、「ルートイングループ・永山勝利」大学修学等支援基金を活用)							
現状(予算編成時)	<p>○家庭の経済状況から進学をあきらめる子どもがいる。既存の奨学金のほとんどが貸与型で、将来の返還負担から貸与をためらう状況がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭の母の困っていること 第1位「子どもの将来(進学)」35.5% 母子家庭の母の子育てで大変なこと 第1位「進学のための学費の貯金等」45.8% ひとり親家庭の子どもで将来の希望を叶えるために必要なもの 第1位「学力・勉強」76.7%、第2位「お金」66.5% <p>(平成27年度実施「ひとり親家庭実態調査」結果)</p> <p>○保護者(実親)の養育が困難・不適なため児童養護施設等に措置されている児童は、本来幼少期等に一般家庭で体験すべき、家庭での旅行・レクリエーション等の体験に乏しく、「生活日課」では困難な体験旅行等の機会創出を支援し、将来の自立に向けた社会性を涵養する必要がある。</p>							
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 ・県内大学生の修学にあたり特定分野の企業等への就職といった一定の条件を課さずに奨学金を給付できるのは、県以外に想定できない。 ・県内全域の児童養護施設に対し、広域・公平な支援を可能とするには県以外に想定できない。					県民との協働による実施: 検討中	
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)							
	<ul style="list-style-type: none"> 修学資金の給付により、経済的に困難を抱えた学生が県内大学等の高等教育機関に修学できる環境を整える。(H28支給人数:25人) 児童養護施設入所児童が自然科学体験に触れる機会創出を促進する。(自然科学・産業技術を体験学習した入所児童の割合 H28:80%) 							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H28実施内容	H28			
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)		
	[ルートイングループ寄附金等活用]県内大学修学奨学金給付事業	補助	経済状況から進学に困難を抱える県内大学生に対し、奨学金を給付	5,500	△ 1,000	4,500		
	児童養護施設入所児童の「未来」支援事業	補助	児童養護施設設置者、里親、ファミリーホーム開設事業者が実施する自然科学体験充実のための費用の補助	9,750		9,750		
	積立金		こどもの未来支援基金への積立金	50,013	200	50,213		
			合計	65,263	△ 800	64,463		
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28補正後			
	予算額	前年度繰越						
		当初予算				65,263		
		補正予算				△ 800		
		合計(A)	0	0		64,463		
	Aの財源	一般財源						
		県債						
		国庫支出金						
		その他	0	0		64,463		
	ト	決算額(B)						
概算人件費	職員数(人)				1.00			
	概算人件費(C)		0	0	8,258			
	概算事業費(B(A)+C)		0	0	72,721			
要求からの主な変更点		要求どおり						

項目	H26末	H27末	H28			H29目標
			目標	成果	達成状況	
給付型奨学金の支給	-	-	25人			
自然科学・産業技術体験を体験学習した入所児童の割合	-	-	80%			